

# ファイナルレポート

(日本語抄訳版)



2024年5月13日

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

## wire Tube 2024

### ワイヤーやチューブはシステムに不可欠

2024年4月15-19日、ワイヤー、ケーブル、チューブ業界のナンバーワンメッセ「wire（国際ワイヤー産業展）」「Tube（国際管材製造加工・技術展）」がドイツ・デュッセルドルフで開催されました。

wire は、60 カ国から 1,500 の出展者が 67,400 m<sup>2</sup>の会場に集まり、約 40 年にわたるデュッセルドルフのサクセスストーリーの中で最大の見本市となりました。また、Tube も 54 カ国から約 52,200 m<sup>2</sup>の会場に 1,200 の出展者が集い、エネルギー効率と持続可能性にますます注目が集まりました。

合計 2,700 の出展者がデュッセルドルフに集結し、5 日間の会期中、約 120,000 m<sup>2</sup>の展示スペースで、ワイヤー、チューブ業界とその上流サプライヤーが将来のエネルギー関連の課題に対応できることを証明しました。また、世界的にシステム・クリティカルなセクターであることも、世界をリードするデュッセルドルフ見本市の地位を高めています。

経済的にも地政学的にも困難なこの時代に、個人的な交流を望む声は、業界内ではっきりと目立ちました。「世界は速く回っているようであり、それと同時に私たちもそれに合わせて回っています。私たちの業界は 2 年に 1 度、ここデュッセルドルフに集まります。私たちはこのことにとっても感謝していますし、今後も wire & Tube が各業界にとって No.1 の見本市であり続けるよう、一貫して努力しています」と、メッセ・デュッセルドルフのワイヤー・チューブ&フロー・テクノロジーズのダイレクター、ダニエル・リフィッシュは喜びを語った。

<エキサイティングなサイドイベントが目白押し>

講演会、プレゼンテーション、特別ショー、デジタルガイドツアーといったプログラムが、大いに賑わいを見せました。エコメタル、水素、プラスチックパイプ、などのホットなトピックに関する特別エリアやデジタル・トレイルでは、それぞれのニュースやトレンドに関する情報が提供されました。

数多くの出展企業の専門家が、自社の持続可能性戦略を発表し、グリーン変革への道筋やエネルギー・気候政策について聴衆と議論し、また脱炭素化に関して、すでに達成された成功事例等が紹介されました。wire & Tube Convention、ITA-Forum、BDS Forum、SawExpo Forum、Special Area Plastic Tubes & Pipes、デジタル・エコメタル、ハイ・ポテンシャル・トレイルなど、展示会場は革新的な技術で溢れていました。

<wire & Tube : 将来の要件に適合>

線材・ケーブル機械、線材・ケーブル製造、および貿易におけるトレンド、そしてグラスファイバー技術、メッシュ溶接機、スプリング製造、接続・ファスナー技術の分野における最新動向が、9~17の展示ホールで紹介されました。

「wire & Tube は、ワイヤー・チューブ産業の未来が活発に形作られる場であり、過去2年間のイノベーションをお客様に紹介する場でもあります。」と WAFIOS AG 取締役会スポークスマンである Dr.ヴァイクマンは述べています。

ホール1から7.1までの展示ブースでは、チューブ産業が「大きく考える」だけでなく、再生可能エネルギーの利用やCO<sub>2</sub>排出削減のための説得力のある持続可能なコンセプトを誇っていることが明らかになりました。チューブやパイプラインを使用する分野は、材料特性や種類・グレードに対する要求と同様、非常に多様であり、ホール1のプラスチック・チューブ&パイプ特別エリアへの来場者が常に多いことからわかるように、プラスチックパイプの役割はますます重要になってきています。

<135カ国からの来場者>

ドイツ以外に、今回もイタリア、スペイン、ベルギー、フランス、オーストリア、オランダ、トルコ、スイス、イギリス、スウェーデン、ポーランド、チェコ共和国、アメリカ、カナダ、韓国、台湾、インド、日本と各国から多くの来場者をお迎えしました。

また、今回は中米、北米、トルコ、アジアからの来場者が、以前より多く見られました。彼らは、見本市ブースの総合的なラインナップと革新的な性質を高く評価し、ほぼすべてのマーケットリーダーの存在を賞賛しました。

今回の wire & Tube 2026 は 2026 年 4 月 13-17 日、ドイツ・デュッセルドルフにて開催されます。下記ウェブサイトに随時情報を更新します。

- wire : [www.wire.de](http://www.wire.de)、Tube : [www.Tube.de](http://www.Tube.de)
- LinkedIn : <https://www.linkedin.com/showcase/wire-and-tube-leadinginternational-trade-fairs/>

wire & Tube 2024 のファイナルレポート（英語オリジナル）は[こちら](#)からご覧ください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

Wire/Tube : Ms. Petra Hartmann-Bresgen [HartmannP@messe-duesseldorf.de](mailto:HartmannP@messe-duesseldorf.de)

【日本でのお問い合わせ先】

株式会社メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン 担当：秋庭

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニ ガーデンコート 7F

TEL: 03-5210-9951 Mail: [mdj@messe-dus.co.jp](mailto:mdj@messe-dus.co.jp)